

中学運動部員に
テーピング紹介

中区でエネジン

浜松市中区の総合エネルギー会社「エネジン」は21日夜、市内の中学校で運動部に所属する生徒らを対象にしたセミナーを同社で開いた。伸縮包帯や医療用粘着テープなどを製造販売するアクタ（磐田市）の芥田晃志社長が講師を務め、テーピングの活用法を紹介した。

自身もテーピングトレーナーとして活動する芥田社長が、成長期の中学生が部活動で痛めやすい膝や肘のテーピング法を解説した。



中学生や保護者ら約100人が参加し、実際に体を動かして筋肉の伸縮を確認した。芥田社長は体の各部位を例に挙げながら「（中学生は）骨が育ち、筋肉が付いてくる

体を動かしながら筋肉や骨の動きを確認したセミナーは浜松市中区の「エネジン」……と、筋肉の付け根に負担がかかると述べて、部位に合ったテーピング法を説明した。その上で「テープで痛みや違和感が改善されなければ、すぐに病院に行つてほしい」と呼び掛けた。